

平成17年度教育研究業績書

氏名 酒井 高正

最終学歴	京都大学大学院文学研究科地理学専攻修士課程修了
取得学位	京都大学文学修士
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、日本人口地理学会、地理情報システム学会（理事）、近畿都市学会（理事）、日本都市学会、奈良地理学会
現在の専門分野	人口地理学、地域情報学、地理情報システム（GIS）
研究課題	GISを利用した人口統計分析
<p>【研究上の特記事項】</p> <p>主に、GISを活用した小地域人口統計の分析を行った。下記の著書・発表等はその成果である。このほか、年度内に実施された平成17年国勢調査の速報データにより、近畿地方の市町村人口の最新の動向を分析した（公刊は本年4月となった。）。</p>	
<p>【教育上の特記事項】</p> <p>授業時間外の教育活動として、ゼミにおいて下記のような巡検を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次日帰り巡検（平成17年6月26日） 「関西学研都市地域の変貌と課題」 ・ 3年次宿泊巡検（平成17年10月3日～7日） 「沖縄本島南部と座間味島を中心とする地域調査実習」（都市、人口、産業、世界遺産など） 	
<p>【社会的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近畿都市学会事務局長（前年度より継続） ・ 奈良県高等学校教科等研究会地理部会、平成17年度研修会講師 「教育現場で活用するやさしいGIS」（平成17年11月17日、奈良県立教育研究会） 	
<p>【学内活動】（学内職歴を含む）</p> <p>平成17年度委員：ホームページ委員会委員長、文学部教務委員、ネットワーク委員、授業改善アンケート委員</p>	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 京阪奈の学術研究都市（金田章裕・石川義孝編『日本の地誌8近畿圏』所収） 2 3 4 5	共著		朝倉書店	関西文化学術研究都市の建設と経緯と、最近の問題点と整理。
(学術論文) 3 4 5				
(学会発表) 小地域統計を用いた関西学研都市地域の人口分析 3 4 5	単独	2005年12月	日本人口学会関西部会研究会	「統計GISプラザ」の町丁目字等別人口データによる分析の紹介。
(その他) GIS Day in 関西2005 2 3 4 5	単著	2006年1月	地理 第51巻第1号	平成18年8月に本学において開催した標記行事の概要報告。